

第18回 R2-D2(タカラ)の巻



前回からの宇宙つながりですが、今回もまたメジャーアイテムです。スターウォーズ旧三部作については説明は不要でしょう(余談ですが、私の中での「スターウォーズ」は父ちゃんを火葬するところで終わっています。「ファントムなんか」等知りません)。このキットは最初のスターウォーズ(今日でいうところの「新たなる希望」)の時にタカラレベルから発売されたものです。タカラのスターウォーズシリーズの内、XウイングはタカラのオリジナルでありMPC社のそれを陵駕していたという伝説的キットですが、このR2に関しては組立説明図を見る限りMPC社のキットと同じ中身ではないかと思います(比較の対象が手元に無いので断言は出来ませんが)。このキットはメッキ部品や透明部品がふんだんに用いられており、特徴のある三本目の脚の収納ギミックや劇中での印象の強い各種アームがきちんと再現された楽しめる模型だと思います。SWシリーズのキットといえば写真のボックス(資料の無い当時、唯一といって良い情報源だった)が印象に残っていますが、イラストの箱絵もなかなか味があります。



キットデータ	
メーカー	タカラ
スケール	1/8
当時価格	1300円(税抜)

実はこのキット、大学時代にうどん屋さんで購入しました。以前模型店だったところが久し振りに行くとうどん屋さんになっていたのです。まあ食事していかうかと中に入ると普通の食堂で雑誌等が置いてあるような棚にプラモデルが。しかもそれがMPCエイリアンとか初版のエルメス(商標の問題から発売後すぐに回収されたいわく付きのキット)とかとても普通ではないのです。食事もそこそここのR2を購入しました。以後何回か行ったのですが、どうやらうどんを作っているのはかつての模型店の奥さんの様でした。エルメスを買ったときなど「これ幻のプラモデルなんでしょ？」なんて妙に詳しいのです。ご主人が亡くなられた為に模型店をやめたらしいと知ったのはだいぶ後になってからのことでした。就職してしばらくして前を通ってみたら、そのうどん屋さんもなくなっていました。ちょっぴり寂しい思い出です。